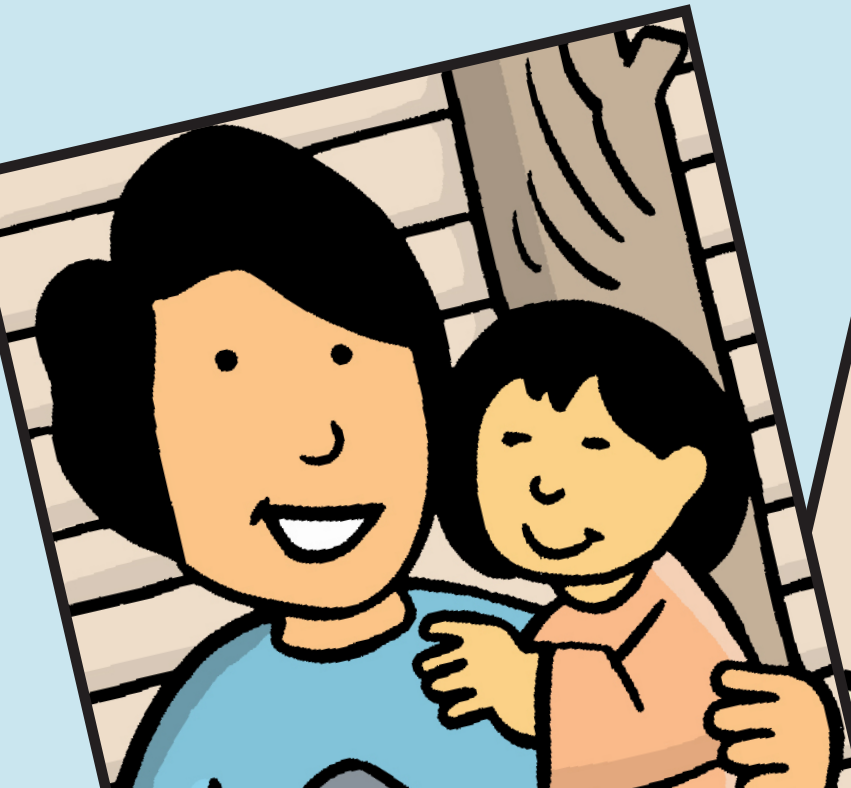
子供達への宣教師

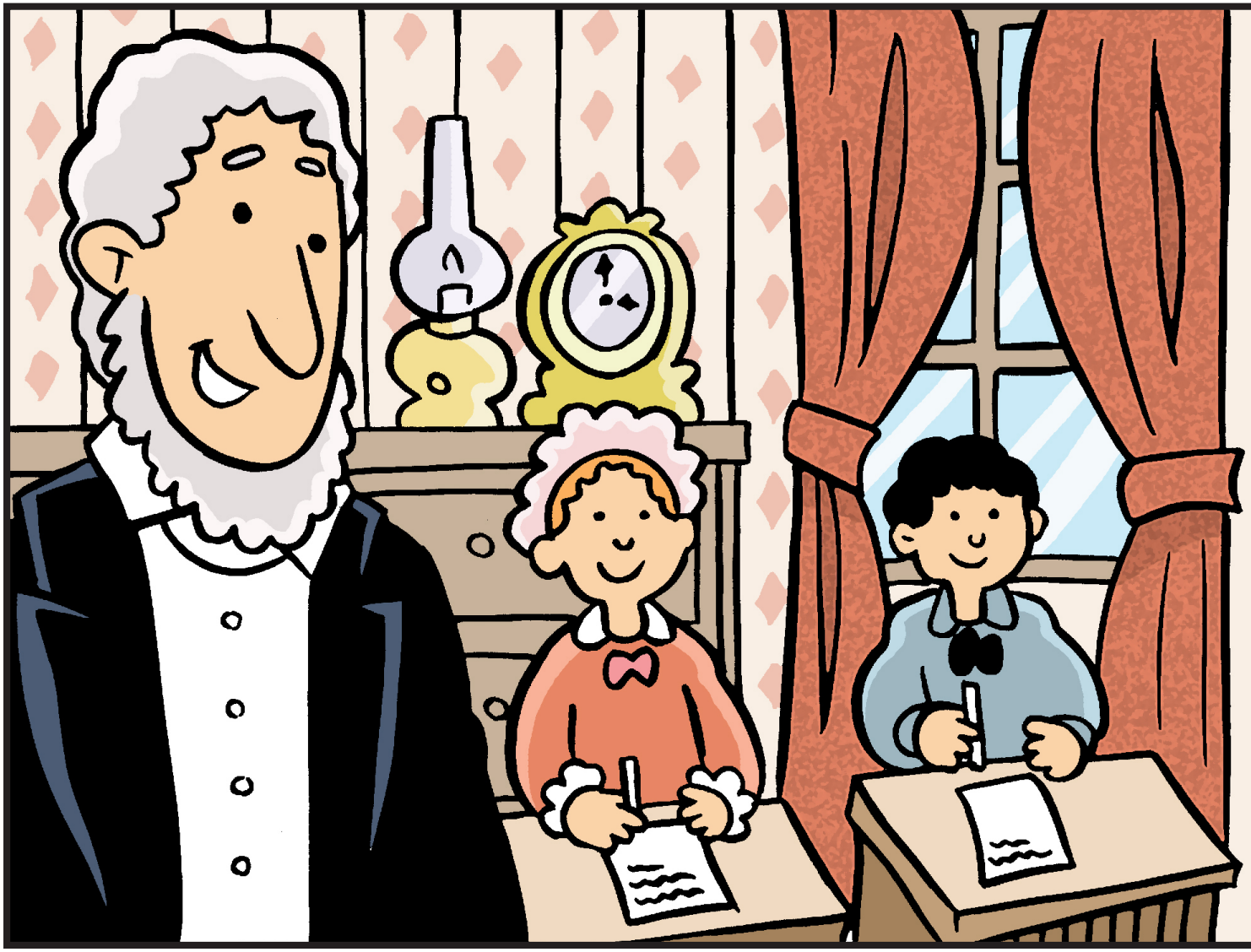
イエス様の最初の使徒達から始まって、歴史上には、世界中に福音を宣べ伝えた偉大な宣教師が大勢います。

その中には、困難な状況の中で子供達に手を差し伸べ、助けることに重点的に取り組んだ宣教師達がいます。彼らは子供達に、イエス様について、またイエス様の大きな愛について教えました。

イエス様は弟子達にこう言われました。「子供達を来させなさい。わたしのところに来るのをさまたげてはならない。天の国はこのような者達のものである。」（新共同訳聖書、マタイによる福音書 19:14）

では、子供達に手を差し伸べ、世話をした、神様の偉大な宣教師達の中から、4人を紹介しましょう。





ジョージ・ミュラー

ジョージ・ミュラーは ドイツ出身で、イギリスの牧師です。貧しい 孤児達の 困難な 状況を目の当たりにした ミュラーは、1836年、妻のメアリーと 共に、このような 子供達を 世話し、教育するため、児童養護施設を 開きました。

ジョージ・ミュラーは、生涯で 1万人以上の孤児達を 世話しました。孤児達は、ミュラーの児童養護施設で 良い 教育を 受けただけでなく、毎日の 祈りと 聖書学習を 通して、神様の 御言葉も 教わりました。

孤児達は 大人に なると 施設を 離れますが、ジョージ・ミュラーは、その 一人一人が、良い仕事に 就くか、さらに 教育を 受けられるように、見届けたのでした。

メアリー・スレッサー

メアリー・スレッサーは、スコットランド人の宣教師です。1877年、28歳で ナイジェリアの奥地へ 行き、親の いない 子供達を 養子にして 育てました。

メアリーは、地元の 母親達が 連れてきた病気の 子供達も、大勢 世話しました。子供達が 元気に なると、親元に 返しました。

メアリーは ナイジェリアの 奥地を 移動しながら、ナイジェリアの 人達によって 運営される学校を 開いていきました。そして、行く 先々で イエス様の 証しを しました。

メアリー・スレッサーは、ナイジェリアで66年近くも 宣教師として 働きました。彼女の功績は、今でも ナイジェリアで 大勢の 人々に たたえられています。

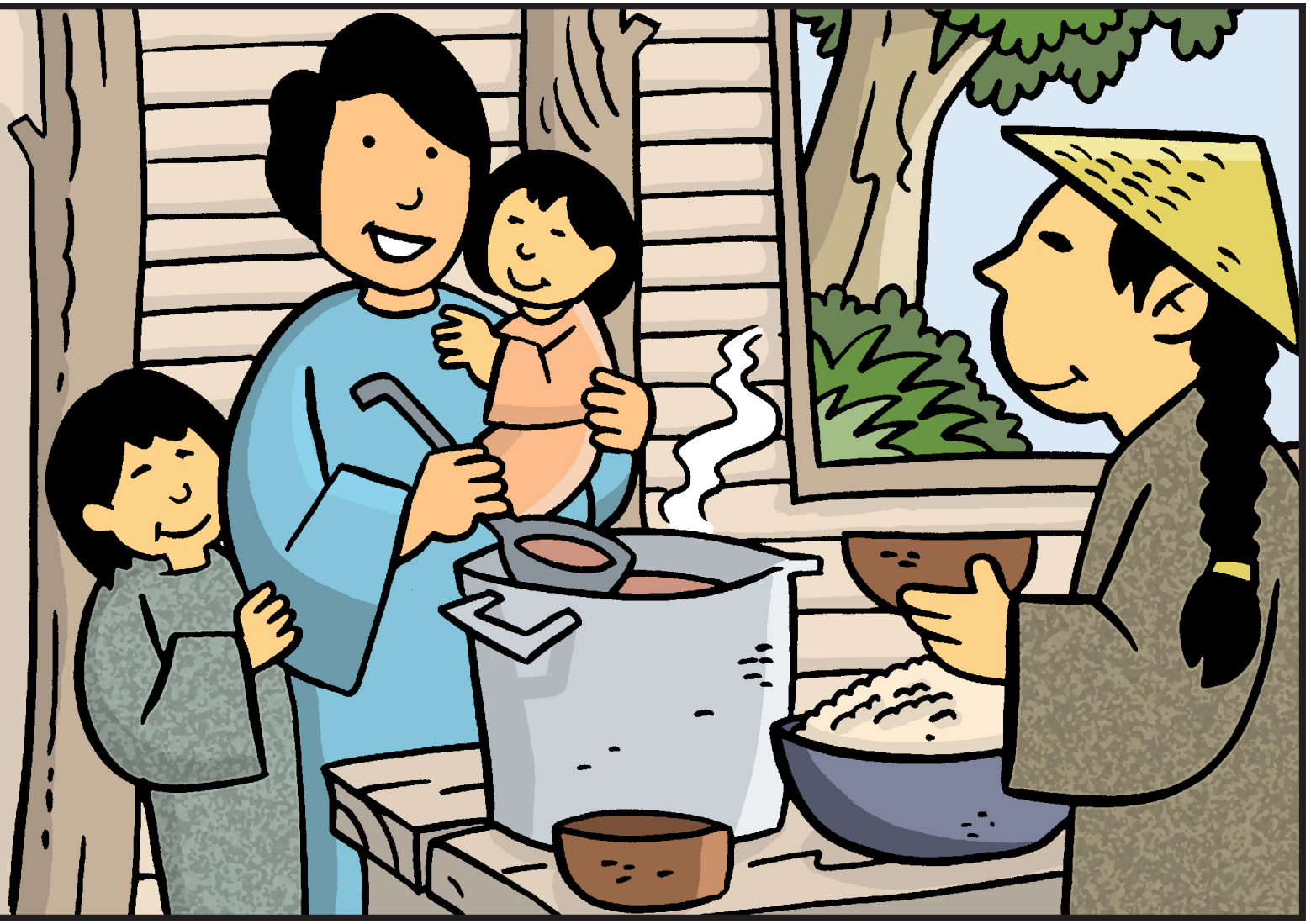
エミー・カーマイケル

エミー・カーマイケルは、アイルランド人の宣教師です。1895年に 28歳で インドに渡り、亡くなる 年の 1951年まで、55年以上 インドで 暮らしました。

エミーは 宣教活動の 一部として、どれいとして 生まれたり 売られたり していた 子供達を 救済しました。いっしょに 働いていた 他の 女性宣教師達と 共に、エミーは 子供達を 自分の 児童養護施設で 愛情を こめて 育てました。大部分は 女の子でしたが、男の子も いました。

エミーは、仲間の 宣教師達と 共に、子供達が 十分な 衣食住を 与えられ、良い 教育を 受けて いる ことを 確かめました。また、一人一人に 個人的な 関心を 注ぎ、イエス様と 聖書について 教えました。（エミー・カーマイケルの ライフワークに ついて、くわしい お話は、「有名な宣教師：エミー・カーマイケル」で 読んでみましょう。）

グラディス・エールワード



グラディス・エールワードは、宣教師として 1932年に イギリスから中国に 渡りました。グラディスは、中国で 多くの 孤児達を 養子にしました。また、中国で 児童養護施設を 開き、後に 台湾でも 養護施設を 開きました。グラディスは、日ごろから 子供達に イエス様や聖書について 教えました。

中国では、戦争の 危機が児童養護施設にも せまった時、100人以上の 孤児達を 安全な場所に 移動させるべく、子供達を連れて 徒歩で 長い 山越えの旅を したことも ありました。

現在も 世界中で、子供達に 手を 差し伸べ、助ける 活動を している 宣教師が 大勢 います。
そのような 活動を している 宣教師について 聞いたことは ありますか？　あなたも、宣教師達や 子供達のために 祈って、
お手伝いする ことが できますよ！　「祈りを 放とう」の シリーズから 祈りを 選んで 応用しても いいでしょう。

文：クリスティ・S・リンチ　絵：ディディエ・マーティン　デザイン：ステファン・ミーラー
出版：マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2015年、ファミリーインターナショナル “Missionaries to Children”--Japanese
関連の読み物はこちら ⇒ 祝福、神の偉大な人々、宣教師